



### 通史展示室「瀬戸内の歴史をたどる」

中世民衆の町「草戸千軒」の歴史的な位置付けを理解するため、瀬戸内地域の「民衆生活」と「交通・交易」をテーマに、実物資料やレプリカなどで原始・古代から現代までの歴史の流れをたどります。  
ミニ展示コーナーでは、2か月ごとにテーマ・資料を入れ替え、広島県の歴史と文化を中心に紹介します。

### 草戸千軒展示室「よみがえる草戸千軒」

草戸千軒町遺跡の発掘調査に基づいて、「草戸千軒」の町並みを実物大で復原しました（今からおよそ650年前〔南北朝時代〕の初夏の夕暮れどきを再現）。  
展示室の周囲には、国重要文化財の出土遺物を生活の場面ごとに分類して展示しています。



白磁四耳壺

青白磁梅瓶

せんかい 銭塊

備前焼壺

遣明船模型

国宝 明王院 五重塔と本堂

草戸千軒町遺跡(昭和61年)

こうがい 鉗 (髪飾り)

### 近世文化展示室「菅茶山の世界と守屋壽コレクション」

江戸時代後期の教育者・漢詩人である菅茶山が遺した国重要文化財「菅茶山関係資料」と、国内最大級の古地図コレクションである「守屋壽コレクション」の展示を通して、近世の歴史と文化を紹介します。  
2か月ごとにテーマを設定し、展示資料を入れ替えます。



食膳の復元

じゆふ 呪符

さまざまな調理具

かんちゃざん

もりやひさし

